



ヌノメガイ (マルスダレガイ目マルスダレガイ科) *Pteriglypta puerpera*

大きさ：殻長 9cm ほど。

奄美諸島以南のインド・太平洋に分布。

浅海の水深 20m までにふつうに生息する。

写真の個体は、砂礫（されき）底で観察された。泡瀬干潟では、よく観察できる貝である。

マルスダレガイの仲間は、サンゴ礁やアマモ場などの砂礫底から干潟や内湾の泥礫～泥底まで幅広い環境に生息する

二枚貝最大のグループである。殻のすき間から水管をのぼし、そこからプランクトンなど浮遊物を呼吸ともに吸いこんで食べる。